

予算審査特別委員会

第24号議案・平成17年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第39号議案・平成18年度白石市水道事業会計予算までの計16議案については、定例会第2日(2月17日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託された。

同委員会(委員長・山谷清、副委員長・吉田貞子)は、2月20日から3月3日までの間で審査した結果、第24号議案・第32号議案・第34号議案・第38号議案までの計4議案は、反対及び賛成の討論があり、表決の結果賛成多数で、残る12議案については、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の中で論議された主な点は次のとおりである。

平成17年度補正予算

総務財政所管

〔質疑〕債務負担行為をする理由について伺いたい。

〔答弁〕今回補正予算で債務負担行為を追加しているのは、18年度の4月1日から事業を行うもの、4月1日から行わ

なければならないもの、例えば、庁舎の警備である等、365日間やらなければならないものについて追加補正している。4月1日に入札、契約でなく、17年度中に入札、契約をする。そして執行は18年の4月1日からスムーズに仕事ができるようにするという追加した。

教育民生所管

〔質疑〕今後、敬老祝金そして敬老会、長寿福祉のサービスマネニュー等を減らし今までのやり方の大きな見直しを考えているのか。

〔答弁〕高齢者に対するサービス、敬老会開催費、あるいは敬老祝金、見直しは16年度に行っており、17年度で見直しをした新しい考え方で計画をし、予算措置した。ただ、いずれの事業でも予定人員と、1人当たりの予算を立て見直しをして、参加者、出席者の減であるとか、あるいは委託料においても、人数が大きく変化することによる事業費の減ということで減額補正が出てきている。

建設水道所管

〔質疑〕木造住宅耐震改修工事助成補助金の件数としてどのくらい終えているのか伺いたい。

〔答弁〕今回は10件を予定していたが、現在のところ9件の状況にある。今まで耐震診断をした方が耐震工事をする助成であるが、現在まだ半分の方が耐震工事を終えていない状況である。

特別会計・企業会計

〔質疑〕国民健康保険特別会計歳入の減額になっている健康保険税及び国庫支出金、逆に増額になっている県支出金及び療養給付交付金について、

〔答弁〕三位一体改革の中で県負担金が増えた。国庫支出金については、療養給付費等負担金4%、調整交付金1%、合計5%が県支出金に変わってきており、国庫支出金が減額され、県支出金が増額になっている。

相関関係があるのか伺いたい。

豆辞典

〔債務負担行為〕

〔債務負担行為〕とは、歳出予算の金額、継続費の総額または繰越明許費の金額の範囲内におけるものを除くほか、地方公共団体が将来にわたる債務を負担する行為をいう。(自治法214)

債務負担行為と歳出予算の相違点は、歳出予算が当該年度限りのものであるのに対し、債務負担行為は、原則として、後年度において経費支出が予想される点にある。債務負担行為のうちには、年度内に補正予算の議決されることを予想して、契約等を締結すること、すなわち現年度においても、上記の歳出予算に含まれているもの以外に債務を負担する行為を含まれることも可能であるが、債務負担行為として予算で定めるのは、一般的には次年度以降において経費の支出を伴うものがほとんどである。